

Dialog 2 Expressing Thanks -感謝を表す-

口語訳

Roles: Mr. Wilson= W, Kei= K

Telephone rings, Mr. Wilson answers.

It is a call from Kei in Japan.

W: Hello.

K: Hello, Mr. Wilson? This is Kei.

W: Hello, Kei! How are you? Oh, did you get our letter?

K: Yes, it was very nice. Thank you very much.

W: You're welcome.

K: Also, thank you for the pictures. They are beautiful!

W: Don't mention it. We really miss you, Kei.

K: I miss you, too. Thank you for everything, Mr. Wilson.

W: No problem, Kei. And thanks for the call.

K: It's my pleasure. Well, goodbye.

電話が鳴り、ウィルソン先生が出ます。
日本にいる圭からの電話です。

ウ： もしもし。

ケ： もしもし、ウィルソン先生ですか？
圭です。

ウ： やあ、圭！ どうだい、元気かい？
ああ、僕たちからの手紙は受け取った？

ケ： はい、とてもうれしかったです。 本
当にありがとうございました。

ウ： どういたしまして。

ケ： それから、写真をありがとうございました。
とってもよく撮れていますね。

ウ： どういたしまして。 君がいなくてほ
んとうにさみしいよ、圭。

ケ： 僕もです。 いろいろと本当にありが
とうございました、ウィルソン先生。

ウ： 気にしないでいいよ、圭。 それから
電話をありがとう。

ケ： こちらこそどうも。 それじゃ、さよ
うなら。

Target Expressions
—感謝を表す表現—



このダイアログのボイ
ントは感謝を表すとき
の言い方よ。

「ありがとう。」と礼を述べる時は“Thank you.”を使う
のが一般的です。
ややくだけた表現

Thanks.

ありがとう。

ややていねいな表現

Thank you very much.

どうもありがとう。



Kei's Advice

～なぜこう訳すの？

“Hello”：電話で日本語の「もしもし」にあたる表現です。

“It was very nice.”：「それはとてもよかったです。」
「それはとてもうれしかったです。」となります。

“You're welcome.”：礼に答える時に使う表現です。「君は歓迎されます。」「どういたしまして。」となります。

“Don't mention it.”：礼に答える時に使う表現です。「礼を述べられるほどのことではないのでそれは言わないでください。」「どういたしまして。」となります。

“miss...”：「～がないのでさびしく思う」「～がいなくてさびしい」となります。

“everything”：「何もかも」「いろいろ」と訳します。

“No problem.”：礼に答える時に使う表現です。直前の発話を受けて「問題ない」「大丈夫です」「気にしないでいい」となります。

“Well”：会話の終了を合図します。

Teachers' Only 先生以外閲覧禁止

逐語訳

ウ： もしもし。

ケ： もしもし、先生、ウィルソン先生？
こちらは圭です。

ウ： こんにちは、圭！ 君は元気ですか？
ああ、君は私達の手紙を受け取りましたか？

ケ： はい、それはとてもよかったです。
本当にありがとうございました。

ウ： どういたしまして。

ケ： それから、写真をありがとうございました。
それらはきれいです。

ウ： それは言わないでください。 私達は
君がいないので本当に寂しく思います、圭。

ケ： 僕もまたあなた方がいないので寂しく
思います。 何もかもありがとうございました、
ウィルソン先生。

ウ： 問題ないです、圭。 それから電話を
ありがとう。

ケ： それは私の喜びです。 さて...さよう
なら。

「～をありがとう」と感謝の内容を述べる時はThank you for + **名詞表現**を使います。

例： Thank you for the pictures.
写真をありがとう。

Thank you for everything.
いろいろとありがとうございました。

Thanks for the call.
電話をありがとう。

「どういたしまして」と礼に答える時は様々な表現を使うことができます。

You're welcome.

* 最も一般的な表現

Don't mention it.

* やや文語的な表現

No problem.

* ややくだけた表現

It's my pleasure.

* やや文語的な表現



Target Expressions

—感謝を表す表現—